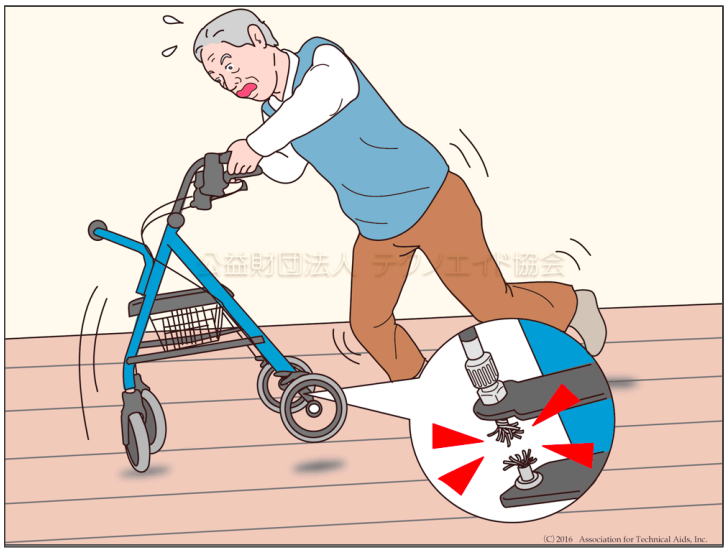
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：314

ブレーキ操作のワイヤーが切れ、ブレーキが掛けられなくなる

場面の説明

歩行器のブレーキワイヤーが歩行中に切れて、転倒しそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	廊下
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

歩行器のブレーキは、長期間の使用や負担のかかる使用にて劣化が早くなります。
特にブレーキを握りしめたままでの歩行は、ブレーキワイヤだけでなく、タイヤ等にも急激な劣化を生じさせます。
パーキンソン症候群など、歩行が加速する傾向の人や下り坂のある環境で暮らしている人が使う歩行器は要注意です。
抑速ブレーキ付きの歩行器を検討しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：パーキンソン症候群など、歩行が加速する傾向だった
人：ブレーキ部分等メンテナンス不足だった
環境：下り坂のある環境で暮らしていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.